

くまもと県北病院に通院中または過去に通院・入院された患者さままたはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年 2月 2日

「当院における急性心筋梗塞患者に対する緊急経皮的冠動脈インターベーションに対する看護体制」に関する研究を実施しています。

くまもと県北病院倫理委員会の審査による承認を得て、上記研究を実施しています。  
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

|             |  |
|-------------|--|
| 倫理審査承認番号    | 202319   |
| 課題名         | 当院における急性心筋梗塞患者に対する緊急経皮的冠動脈インターベーションに対する看護体制  |
| 研究責任者       | 角 順子   |
| 研究実施期間      | 倫理審査承認日～2026年3月31日   |
| 研究の意義・目的    | <p>日本循環器学会では、急性心筋梗塞患者に対し、来院から再灌流までの時間であるDoor to Balloon Time（以下DTBT）を90分以内を実施することを推奨している。</p> <p>DTBTを短縮させるためには、PCIが決定した時に勤務するスタッフ全員が協力し、できるだけ早くPCIが実施できる準備を整え、迅速に患者を治療室へ搬入することが重要である。</p> <p>そこで、急性心筋梗塞患者のPCIに迅速に対応できる体制を整え、患者来院から治療室へ入室するまでの時間（以下Door to Entrance Time）を短縮させることを目的として本研究に取り組む。</p> |
| 対象となる方      | 当院で緊急的に心臓カテーテル検査を受けた方  |
| 利用する診療記録・検体 | 本研究は既存のカルテ情報のみを用いて行う   |
| 研究方法        | 観察研究 後ろ向きにカルテから情報を収集   |
| 問合せ先        | HCU角 順子（PHS 8085）  |

- 診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。
- 当院外へお名前や個人情報がでることはありません。
- 必要な情報のみを集計します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌で発表しますが、患者さまを特定できる個人情報を利用しません。

- この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了承いただけない場合、またご不明な点については上記問合せ先までご連絡くださいますようお願いいたします。
- 研究不参加を申し出られた場合でも、何ら不利益を受けることはありません。  
ただし、同意取り消しの申し出をいただいていた時、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や試料や情報が匿名化されて個人情報が全く特定できない場合などには結果を廃棄できないことがあり、引き続き使用させていただくことがあります。